

山梨県内介護支援専門員のリハビリに対する意識調査

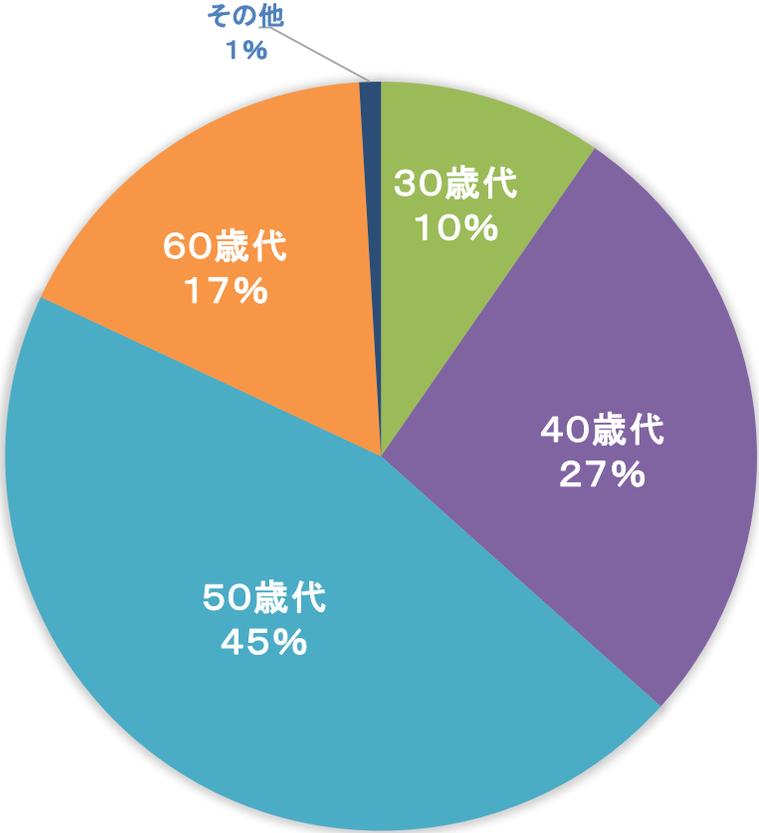
- 1.対象：一般社団法人 山梨県介護支援専門員
- 2.アンケート実施：主体 山梨県理学療法士会
- 3.調査期間：平成29年12月8日～平成29年12月26日
- 4.調査方法：郵送調査
- 5.調査結果：介護支援専門員数 894名

回答数 322名

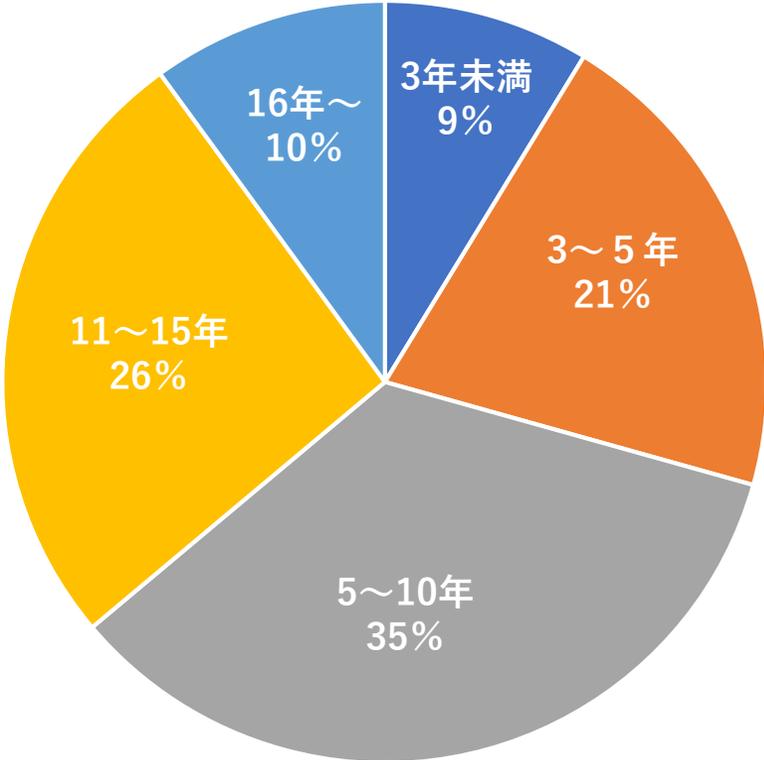
回収率 36.0%

回答者の年齢と経験年数

年齢



経験年数



質問1) 療法士が行うリハビリテーションについて、あなたがお持ちのイメージを教えてください
(3つ選んでお答えください)

選択項目	選択した人の総数	選択した人の割合
心身機能の維持・回復	272	79%
社会復帰	97	27%
健康管理・予防	18	5%
A D L の評価、練習	217	63%
歩行補助具、福祉用具の選定	107	31%
住環境の評価	121	35%
生活行為の評価・練習	201	58%
その他	8	2%

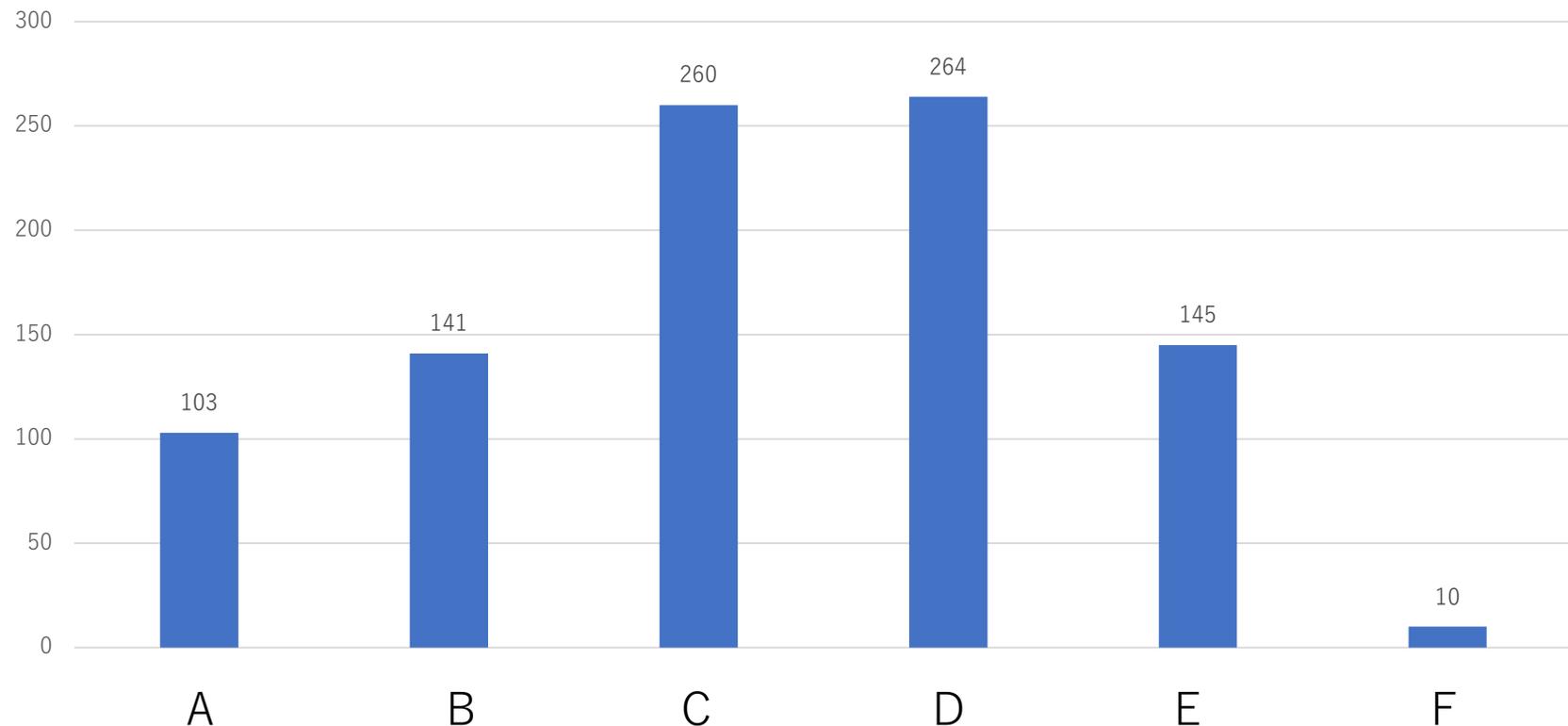
質問 2) 療法士がいるサービス事業所へ依頼したことがありますか。

①ある : 304名 (95%)

②ない : 16名 (4%)

※無回答2名

①あると答えた方にお伺いします。どちらのサービス事業所へ依頼しましたか



A. 介護保険施設

B. 訪問看護ステーション

C. 訪問リハビリテーション

D. 通所リハビリテーション

E. デイサービス

F. その他

**質問3) 療法士がいるサービス事業所へ依頼したことがない,と答えた方にお伺いします。
依頼したことの無い理由を教えてください。**

- ・対象者に適さないと思った (他1件)
- ・施設CMにて訪問は依頼しているが、サービス事業への利用がないので・・・
※実費で使っている
- ・施設CMなので施設にPTがおります (他1件)
- ・グループホームには介護保険での訪問リハビリは利用できないといわれました
- ・サービスを利用する機会がなかった (他2件)
- ・特養利用者の中にも状況に応じて短期的にリハビリをすることで状態の改善が望める対象者もいると思うが、本人も家族も消極的
- ・施設内で機能訓練指導員がいるので依頼したことがないが指導員より専門職へ依頼したいところが本音
- ・療法士のいる事業所がわからない
- ・療法士のいる施設には依頼あり生活介護の為
- ・施設で機能訓練を行っていない。訓練員の配置もない。訓練加算もない。
(日常生活の中で職員はできる日常生活動作訓練を行って現状維持している)
- ・STのいないところが多い

質問4) 療法士がいるサービス事業所へ依頼したことがある、
と答えた方にお伺いします。
依頼はリハビリテーションを主目的とした依頼でしたか

①はい : 291名 (96%)

②いいえ : 10名 (3%) ※無回答3名

①はいと答えた方にお伺いします。

リハビリテーションの目的はどのような依頼でしたか。(複数選択可)

選択項目	選択総数
心身機能の維持・回復	263
社会復帰	58
健康管理・予防	32
A D L の評価、練習	222
歩行補助具、福祉用具の選定	134
住環境の評価	157
生活行為の評価・練習	218
その他	6

**質問5) 質問4)で②いいえと答えた方にお伺いします。
リハビリテーション以外の目的はどのような依頼でしたか。**

- ・精神疾患への関わり（コミュニケーション）。
- ・ターミナルにおける緩和ケア（家族へのアプローチ）
- ・本人のやる気回復のため（他1件）
- ・介護施設として（在宅生活困難）
- ・他社との交流が持てるような支援、入浴支援
- ・自立支援
- ・50代の方など就労へ向けた支援ができた
- ・看護常駐のため、定期的排便管理、褥瘡処置の依頼
- ・身体ケア方法や補助具等のアドバイスや選定の依頼
- ・病気の管理、家族対応、介護指導等
- ・特養待ち
- ・社会参加、他者との交流、レク活動
- ・心身機能の維持

**質問6) 療法士がいるサービス事業所へ依頼したことがある方にお伺します。
一緒に仕事をした際に、連携をとることが出来ましたか。**

	総数
①出来た	158
②まあまあ出来た	126
③あまり出来なかった	6
④全く出来なかった	1

③あまり出来なかった、④全く出来なかった と答えた方にお伺いします。
なぜ連携がとれませんでしたか。

- ・ 入院中のリハビリなどはカンファレンス開催が難しい（入院期間が短くなっているため）
- ・ できる人とできない人がいる。歩み寄りがない方がいる、差が大きく出ていると思う。
- ・ 同居の家族がいるのに居間の真ん中に手すりを置くようになどと現実をみていない
- ・ 訓練内容と評価、又変化のすみやかな連絡がなかった（他2件）
- ・ 退院後にうかがえないと言われた病院があった（最近多い峡東の方の病院です）その後の紹介もなくこちらで受診やリハビリを紹介状で考えなければならなかった
- ・ 訪問リハさんの事業所は小さいので電話が通じにくい
- ・ 窓口が相談員のことが多く、直接話すことができない。（他1件）
- ・ 介護保険上のルールやシステムの流れ等を知って適切な時期にどの様な動きをしていいか知ってほしい。医療的アプローチと介護保険上のアプローチのプロセスが違う事も理解してほしい。
- ・ 担当者会議には相談員が出席することが多く、顔が見える関係は作りにくい。書面での連携が主となることがほとんど。電話をしても直接話す時間がとりにくい
- ・ 直接担当PTやOTとやり取りが出来ず、窓口とのやり取りで意向が思うように伝わらなかった。家族・本人の思いとPTの評価にギャップが大きいうまくいかなかった。

質問7) 療法士と一緒に仕事をしてよかった点、悪かった点は何ですか

※別紙①参照

質問8) その他、意見がありましたら教えてください

※別紙②参照